

(公財) 日教弘教育研究助成事業 岡山支部教育研究論文・著書助成募集要項

教育研究論文・著書助成は、教育の振興に寄与すると認められる学校園又は個人の実践研究論文(著書を含む)に助成金を贈呈する事業です。令和5年度は下記要項のとおり実施します。

1 主催 公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部

2 後援 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

3 助成要件

(1) 趣旨

「学校の実態を踏まえ明日の教育を考える」という立場から、教育に関する実践研究論文(著書を含む)を募集し、有益な研究を行った者(学校・園)に助成金を贈り表彰するとともに、広くその成果を頒布し、もって本県教育の振興に寄与する。

(2) 募集の対象にならないもの

① 論文部門

ア 公的機関、研究会、研究紀要、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの

イ 他団体に応募(推薦含む)ずみの内容のもの

ウ 本事業に応募後、審査結果通知までに、他団体に発表・応募(推薦含む)する予定のもの(但し、当会本部主催の「日教弘教育賞」へ推薦された場合は、「日教弘教育賞」の審査結果通知まで、他団体に発表・応募できません。)

〈上記ア～ウ共通の注意点〉

※他団体への発表・応募書類が、論文の様式でないもの(申請書・報告書・レポート等)であっても、内容が類似している場合は、対象となりません。

但し、次の2つの条件をともに満たすものは対象とします。

・新たな内容に主軸を置いているもの(内容に差異がないもの、前段である研究・活動に紙幅を割いて新たな内容を数行追加しただけのもの等は対象外とします。)

・他団体への発表・応募書類を提出できるもの(審査委員会で使用します。)

② 著書部門

ア 学校の研究紀要や多数の研究論文を集録したもの

イ 他団体に応募(推薦含む)ずみのもの

③ 前年度の受賞校・受賞者は、同一部門(前年度受賞した部門)には応募できません。

(3) 募集対象

県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、中等教育学校及び教育行政機関に勤務する教育関係者となります。なお、応募は1人1編とします。

① 論文部門(学校部門)

ア 学校単位で行う研究・実践等を所定の様式にまとめた論文で、研究期間については特に限定しません。

イ 学校部門は、校長(教育行政機関の場合は所属長)が応募者となります。

② 論文部門(個人部門)

ア 平素取り組んでいる研究・実践等を所定の様式にまとめた論文で、研究期間については特に限定しません。

イ 共同研究については、少人数(研究グループ)のものとし、部会等の研究は除きます。

③ 著書部門(退職者を含む)

締め切り期日前の1年間に自費又は出版社を通じて発刊された著書で、学校教育の振興に役立つもの。共同執筆の著書については、申請者が著作権等を有する場合は応募の対象とします。

(4) 募集期間

令和5年4月1日(土)から令和5年8月31日(木)

(5) スケジュール

令和5年10月中旬 選考
10月下旬 結果通知
令和6年1月下旬 表彰式
2月中旬 助成金送金

(6) 応募方法等

① 論文部門

ア 応募方法

学校部門は教育研究論文申請書（学校部門）（教育実践研究様式1），個人部門は教育研究論文申請書（個人部門）（教育実践研究様式2）を当支部ホームページ（<http://www.okakyoko.or.jp>）からダウンロードして，必要事項を記入して申請してください。

イ 研究主題

論文の主題は，「学校の実態を踏まえ明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

ウ 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワード等を使用し，文字は常用漢字，現代かなづかいを使用してください。指定の原稿用紙はありませんので，次のとおり設定の上，提出してください。（(ア)・(イ)ともに必須。）

エ 電子データ（CD-ROM等）の提出について

次の(ア)・(イ)はそれぞれ別のファイルで作成してください。

(ア) 要旨

i 様式

- ・ 48字×43行×1段組×A4判1ページ横書き（フォントサイズ10.5・MS明朝体）

ii 記載項目

- ・ 応募者（学校部門は校長）の所属学校，役職，氏名
- ・ 研究主題
- ・ 研究副題
- ・ 研究の要旨（論文の内容をまとめたもの）

(イ) 論文

i 様式

- ・ 24字×43行×2段組×A4判4ページ横書き（フォントサイズ10.5・MS明朝体）

ii 応募者記載欄

- ・ 1ページ目1～6行目（段組み左右・2段分）に記入する。
※ 1ページ目の行数が様式に沿う（43行）場合のみ，フォントサイズの変更可能（フォントサイズ10.5～12程度）
- ・ 記載事項は研究主題，副題，応募者の所属学校，役職，氏名とする。
- ・ 学校名は県市町村（町立・村立の場合は郡も）を含め，正しく記載してください。
- ・ 学校部門の応募者は校長に限ります。
- ・ グループの応募者はグループの代表者に限り，所属学校をグループ名に換えて応募することも可能です。

iii 本文

- ・ 2段組で記入する。
- ・ 1ページ目7行目（左段）～4ページ目43行目（右段）の中に本文及び図表・写真等の資料を収める。
- ・ 小見出しや文章の書き出しの前は，ひとマスあけてください。
- ・ 掲載する図表・写真等の資料は，「教育研究集録」作成時に見にくくならないように配慮するとともに，A4判1ページ程度以内の分量に収めてください。

※ レイアウト等については，当支部ホームページ（<http://www.okakyoko.or.jp>）の例を参考にしてください。論文の作成にあたっては，別紙1「教育研究論文作成上の視点」を参考にしてください。

- ※ 児童生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。
- ※ 学校部門は校長が応募者となりますが、他に校長以外の担当者（執筆責任者・執筆担当者 等）がいる場合は、論文の文末に記載することができます。（例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○）
- ※ 教育研究論文申請書及び要旨・論文に記載する氏名・所属学校・役職・研究主題等は、不一致がないようにしてください。
- ※ 論文以外の付属資料は審査の対象になりません。

② 著書部門

教育研究著書申請書（教育実践研究様式3）を当支部ホームページ（<http://www.okakyoko.or.jp>）からダウンロードして、必要事項を記入し、著書10部を添えて申請してください。退職者は、申請書の所属欄に現住所を記入してください。論文と著書との併願は可とします。

③ 提出先（問い合わせ先）

〒703-8258 岡山市中区西川原 255 番地
 公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部 研究論文・著書係
 TEL (086) 272-1909/FAX (086) 272-1781

④ 締切

令和5年8月31日（木）必着とします。

4 助成金

(1) 助成金額等

① 論文部門(学校部門)

◇ 最優秀	30万円	1編以内
◇ 優 秀	20万円	3編以内
◇ 優 良	10万円	5編以内
◇ 奨 励	5万円	予算内で決定

② 論文部門(個人部門)・著書部門

◇ 最優秀	15万円	1編以内
◇ 優 秀	10万円	3編以内
◇ 優 良	5万円	5編以内
◇ 奨 励	3万円	予算内で決定

(2) 助成方法

- ① 選考の結果、受賞者には、表彰式において賞状を贈呈します。表彰式は1月下旬頃に開催します。
- ② 助成金は、結果通知とともに送付する教育実践研究助成金振込依頼書（教育実践研究様式4）にご記入いただいた指定の銀行口座へ2月中旬頃送金します。

5 選考

(1) 選考方法

- ① 学識経験者、教育関係者等で構成する日教弘岡山支部教育振興事業選考委員会の選考後、岡山支部幹事会の議を経て支部長が決定します。選考結果を文書で通知します。
- ② 応募論文の中から、優秀なものを選び、公益財団法人日本教育公務員弘済会本部が主催する「日教弘教育賞」へ推薦します。但し、「日教弘教育賞」で過去5年以内に受賞した学校園及び受賞者を除きます。

(2) 選考基準

別紙2「教育研究論文審査の観点」による。

6 受賞者の義務等

受賞者が研究機関のホームページや広報誌、論文等により助成事業の成果を発表する場合には、論文等に日教弘岡山支部の助成を受けたことを必ず記載してください。

7 個人情報の取り扱い

- (1) 申請書に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
- (2) 助成が決定した場合は、申請書に記入された受賞者の氏名、所属、職名、助成対象テーマ及び表彰式等の模様を、ホームページや広報誌等で公表します。併せて、優良以上の論文（著書は要約）と受賞者全員の研究主題・氏名・所属・職名を記載した「教育研究集録」を刊行し、学校・教育機関等に配布するとともに、ホームページにも掲載します。

8 その他注意事項

- (1) 提出された書類等は返却しません。
- (2) 申請内容について、問い合わせを行うことがあります。
- (3) 万一、故意の虚偽記載等が認められた場合は、当該申請を無効とします。
- (4) 選考結果の情報及び採否の理由についての問い合わせには回答しません。
- (5) 応募著書の返却・買取はいたしません。